

2024年度 教育本部事業報告(一覧)

No	事業管理番号	行事名	日程	参加人数	合格者数等	会場
◇県運関係						
☆スキー関係						
1	教1	教育本部会議	2023年 11月 11日(土)	57	-	パルティ
2	教3	SAJスキー技術員及びSAT技術員会議	2023年 12月 9日(土)・10日(日)	30	-	ハンターマウンテン塩原
3	教47	栃木県スキー技術選ジャッジ候補者研修会	2024年 1月 8日(月) 祝日	11	-	ハンターマウンテン塩原
4	教15	SAJ指導者研修会講師研修〔中止〕	2024年 1月 9日(火)	0	-	日光湯元スキー場
5	教5	SAJ指導者研修会及び公認スキー検定員クリニック(1次)	2023年 12月 16日(土)～17日(日)	137	-	ハンターマウンテン塩原
6	教5	SATスキーインストラクター研修会(1次)	2023年 12月 16日(土)～17日(日)	13	-	ハンターマウンテン塩原
7	教6	SAJ指導者研修会及び公認スキー検定員クリニック(2次)	2024年 1月 10日(水)～11日(木)	14	-	日光湯元スキー場、エーデルワイススキーリゾート
8	教6	SATスキーインストラクター研修会(2次)	2024年 1月 10日(水)～11日(木)	2	-	日光湯元スキー場、エーデルワイススキーリゾート
9	教7	SAJ指導者研修会及び公認スキー検定員クリニック(3次)	2024年 2月 24日(土)～25日(日)	30	-	日光湯元スキー場
10	教7	SATスキーインストラクター研修会(3次)	2024年 2月 24日(土)～25日(日)	2	-	日光湯元スキー場
11	教23	第61回栃木県スキー技術選手権大会	2024年 1月 20日(土)	56	-	ハンターマウンテン塩原
12	教24	第16回オーフンズリングスキー技術選手権大会	2024年 3月 17日(日)	27	-	ハンターマウンテン塩原
13	教24	2024ジュニアスキー技術選手権大会	2024年 3月 17日(日)	3	-	ハンターマウンテン塩原
14	教24	第13回学童スキー技術選手権大会	2024年 3月 17日(日)	2	-	ハンターマウンテン塩原
15	教24	2024オープンマスターズスキー技術選手権大会	2024年 3月 17日(日)	30	-	ハンターマウンテン塩原
16	教10	指導員・準指導員受検者養成講習会(A)	2023年 11月 26日(日)	24	-	パルティ
17	教11	準指導員受検者養成講習会(B)	2023年 12月 16日(土)	17	-	ハンターマウンテン塩原
18	教12	指導員・準指導員受検者養成講習会(C-1)	2023年 12月 23日(土)・24日(日)	42	-	ハンターマウンテン塩原
19	教13	指導員・準指導員受検者養成講習会(C-2)	2024年 1月 13日(土)・14日(日)	37	-	会津高原だいらスキー場
20	教14	指導員・準指導員受検者養成講習会(C-3)	2024年 2月 17日(土)・18日(日)	33	-	会津高原だいらスキー場
21	教25	第68回スキー準指導員検定会	2024年 3月 2日(土)～3日(日)	14	8	会津高原だいらスキー場
22	教32	SATスキーインストラクター養成講習及び検定会(第1次)	2023年 12月 16日(土)～17日(日)	4	4	ハンターマウンテン塩原
23	教32	SATスキーインストラクター養成講習及び検定会(第2次)	2024年 1月 10日(水)～11日(木)	3	3	日光湯元スキー場
24	教27	公認スキー検定員(B・C級)検定会	2024年 3月 16日(土)	B級	4	ハンターマウンテン塩原
				C級	11	
25	教26	スキーブライズテスト[T/P・C/N](第1回)	2024年 2月 4日(日)	CP	13	マウントジーンズ那須
				TP	22	
					2	
26	教26	スキーブライズテスト[T/P・C/N](第2回)	2024年 2月 18日(日)	CP	13	マウントジーンズ那須
				TP	26	
					3	
27	教26	スキーブライズテスト[T/P・C/N](第3回)	2024年 3月 16日(土)	CP	21	ハンターマウンテン塩原
				TP	36	
					3	
28	教26	スキーブライズテスト[T/P・C/N](第4回)	2024年 3月 30日(土)	CP	21	ハンターマウンテン塩原
				TP	32	
					2	
29	教31	スペシャルトレーニング'24	2023年 12月 20日(水)・21日(木)	12	-	ハンターマウンテン塩原
30	教30	教育関係職員及び学校教職員スノースポーツ講習会	2024年 2月 3日(土)～4日(日)	25	-	会津高原だいらスキー場
31	教16	SAJ公認パトロール受検者養成講習会(A日程)	2023年 12月 21日(木)	1	-	ハンターマウンテン塩原
32	教16	SAJ公認パトロール受検者養成講習会(B日程)	2024年 2月 7日(水)～8日(木)	1	-	ハンターマウンテン塩原
33	教9	SAJ公認パトロール研修会	2024年 2月 13日(火)～14日(水)	4	-	ハンターマウンテン塩原
34	教19	選手強化合宿(1次)	2023年 12月 20日(水)～21日(木)	11	-	ハンターマウンテン塩原
35	教20	選手強化合宿(2次)	2024年 1月 8日(月) 祝日	13	-	ハンターマウンテン塩原
36	教21	選手強化合宿(3次)	2024年 3月 4日(月)～5日(火)	7	-	ルスツリゾートスキー場
☆スノーボード関係						
1	教2	教育本部スノーボード部員会議	2023年 12月 9日(土)	8	-	ハンターマウンテン塩原
2	教8	スノーボード指導者研修会及び公認スノーボード検定員クリニック、資格移行講習会	2023年 12月 17日(日)	14	-	ハンターマウンテン塩原
3	教17	スノーボード指導員受検者養成講習会	2023年 12月 24日(日)	1	-	ハンターマウンテン塩原
4	教33	北関東スノーボード技術選強化練習会	2024年 1月 27日(土)	10	-	スノーパーク尾瀬戸倉
5	教18	スノーボード準指導員受検者養成講習会	2024年 2月 10日(土)～11日(日)	2	-	会津高原だいらスキー場
6	教28	第22回スノーボード準指導員検定会	2024年 3月 9日(土)	1	1	会津高原だいらスキー場
7	教46	公認スノーボード検定員(B・C級)検定会	2024年 3月 10日(日)	B級	6	会津高原だいらスキー場
				C級	8	
◇北関東ブロック関係						
				本連盟関係		
1	教38	北関東ブロックスキー技術員研修会	2023年 12月 2日(土)～3日(日)	17	-	鹿沢スノーエリア
2	-	北関東ブロックスキー学校主任教師研修会	2023年 12月 2日(土)～3日(日)	-	-	鹿沢スノーエリア
3	教40	北関東ブロックスノーボード技術員研修会	2023年 12月 2日(土)～3日(日)	2	-	鹿沢スノーエリア
4	教39	北関東ブロックスキーパトロール技術員研修会	2023年 12月 8日(金)～10日(日)	1	-	ピラタス蓼科スノーリゾート
5	教34	北関東スキー技術選手権大会	2024年 1月 26日(金)～28日(日)	30	-	鹿沢スノーエリア
6	教36	北関東スノーボード技術選手権大会	2024年 1月 27日(土)～28日(日)	10	-	スノーパーク尾瀬戸倉
◇全日本関係						
				本連盟関係		
把握しているものに限る						
1	-	SAJスキー・スノーボード中央研修会	2023年 11月 23日(木)～26日(日)	4	-	札幌国際スキー場
2	-	第4回全日本マスターズスキー技術選手権大会	2024年 2月 3日(土)～4日(日)	-	-	白馬岩岳スノーフィールド
3	-	公認スキー指導員検定会	2024年 2月 23日(金)～25日(日)	6	5	戸狩温泉スキー場・網張温泉スキー場他
4	-	公認スキーA級検定員検定会	2024年 2月 24日(土)～25日(日)	1	1	戸狩温泉スキー場・網張温泉スキー場他
5	-	公認スノーボード指導員検定会	2024年 2月 23日(金)～25日(日)	1	1	戸狩温泉スキー場他
6	-	公認スキーパトロール検定会	2024年 3月 2日(土)～3日(日)	1	0	大鱒温泉スキー場
7	教37	第21回全日本スノーボード技術選手権大会	2024年 2月 29日(木)～3日(日)	8	-	スノーパーク尾瀬戸倉
8	教35	第61回全日本スキー技術選手権大会	2024年 3月 6日(水)～10日(日)	7	-	ルスツリゾートスキー場
9	-	第8回全日本ジュニアスキー技術選手権大会	2024年 3月 23日(土)～24日(日)	-	-	ルスツリゾートスキー場

3 教育本部関係

2024年度 教育本部事業報告

栃木県スキー連盟教育本部会議

1. 主 催 栃木県スキー連盟
2. 期 日 2023年11月11日（土）
3. 会 場 パルティ（とちぎ男女共同参画センター）
4. 責 任 者 篠原 浩
5. 担 当 理 事 分田久貴
6. 参 加 者 本部長，理事，専門委員，技術員，部員 総数57名
7. 概 要 2024シーズンの各行事の進め方及び調整事項、決算方法の確認を行った。シーズン直前の打合せ会議となり、充実した内容の会議ができた。特に、シクミネットでの手続きや事業報告書の提出方法等について確認ができたことは有意義であった。
また、理事会に引き続き、SAJスキー・スノーボード・スキーパトロール技術員及びSAT技術員、教育本部員を加えての全体会議を行った。内容は、理事会で提案された内容を、現場サイドからの意見を取り入れより充実した行事となるための打合せ会議を行った。シーズン直前に打合せができ、より内容の濃い議論ができた。

SAJスキー技術員及びSAT技術員会議

1. 主 催 栃木県スキー連盟
2. 期 日 2023年12月9日（土）・10日（日）
3. 会 場 ハンターマウンテン塩原
4. 講 師 齋藤貴次、川口 悟
5. 参 加 者 専門委員2名，SAJ教育本部スキー技術員・SAT技術員28名
6. 概 要 1日目はSAJ技術員とSAT技術員でディスカッションしながら今シーズンのテーマについて研修を進めた。
2日目は理事も数名入り、1日目の復習とクリニック、デモンストレーションの割り当てを行いSAJ技術員・SAT技術員間のコミュニケーションを取ることができた。

栃木県スキー技術選ジャッジ候補者研修会

1. 主 催 栃木県スキー連盟
2. 期 日 2024年1月8日（月）祝日
3. 会 場 ハンターマウンテン塩原
4. 役 員 齋藤貴次、川口 悟

5. 参加者 11名
6. 概要 強化合宿と併せて開催し、実際に滑りを見ながら競技委員長、審判長を中心にジャッジマンの技術的観点などの意思統一が図られ、大変有意義な研修会となった。

SAJ指導者研修会講師研修

1. 主催 栃木県スキー連盟
2. 期日 2024年1月9日(火)〔中止〕
3. 会場 日光湯元スキー場
4. 役員 齋藤貴次
5. 概要 SAJ指導者研修会及び公認スキー検定員クリニック(2次)申込者数が当初予定数より大幅に少ないことから、予定していた技術員で運営可能なため、指導者研修会講師研修を中止とした。

全日本スキー連盟指導者研修会及び 公認スキー検定員クリニック(第1次) SATスキーインストラクター(認定スキー指導員)研修会(第1次)

1. 主催 栃木県スキー連盟
2. 期日 2023年12月16日(土)～17日(日)
3. 会場 ハンターマウンテン塩原
4. 責任者 齋藤伸幸
5. 県連役員 渡辺陽一、谷津三喜夫
6. 教育本部役員 篠原浩、新井和夫、分田久貴、芳野哲也、齋藤理事、橋本理事、網理事、増子委員
7. 担当理事 松本 忍、齋藤敦史、佐山 毅、大谷昌弘、網 清夫、
8. 主任講師 齋藤貴次
クリニック主任：川口 悟
9. 講師 高野正基、児山将之、川俣聖寿、戸塚智子、後藤知昭、和田友実子、菅原 豊、新田義之、佐藤公一、岡 豊、小澤大介、泉 悠太、長島瑞季、増淵耕樹、原 克仁、土橋雄介、齋藤紀幸、小澤嘉菜、鈴木勝治、吉田哲哉、漆原徳馬、矢板 拳
10. 参加者 150名
11. 概要
- ・研修会について
今シーズンも、理論については受講者がeラーニングで事前に視聴してくる方法をとった、また、3年ぶりの参加者全員による開会式・閉会式を行うことができた。
 - ・指導者研修会について
初日午前には技術員のデモンストレーションを実施し滑りを見学してもらい、班ごとに講師からテーマについて詳しくレクチャーを行った。参加者がeラーニングおよびハンドブックを読み込んでいたため内容の理解と、実際の滑りでも表現できるとも充実した研修会を執り行うことが出来た。

- ・クリニックについて
班構成を変更し、班ごとにジャッジの要領や着眼点について確認した。種目の滑走も行うことで、参加者自らが検定種目の確認とジャッジの着眼点をしっかり確認することが出来た。
12. 所 見 今年のテーマは昨年同様の「ターン始動時のポジショニング」についてしっかり研修できたと思われる。雪不足であるが、スキー場の多大なご協力により、山頂からロッジまで滑り降りるバーンを確保でき、充実した研修会を実施することができた。
- 天候は1日目は気温が高く融雪が進んだが、2日目は低温で雪となった。

全日本スキー連盟指導者研修会及び 公認スキー検定員クリニック(第2次) SATスキーインストラクター(認定スキー指導員)研修会(第2次)

1. 主 催 栃木県スキー連盟
2. 期 日 2024年1月10日(土)～11日(日)
3. 会 場 日光湯元スキー場、エーデルワイススキーリゾート
4. 責 任 者 齋藤伸幸
5. 県 連 役 員 小林英夫
6. 教 育 本 部 役 員 齋藤貴次
7. 担 当 理 事 齋藤敦史
8. 主 任 講 師 齋藤貴次、クリニック主任：高野正基
9. 講 師 齋藤貴次、高野正基、齋藤敦史
10. 参 加 者 16名
11. 概 要 積雪不足のため1日目は日光湯元スキー場でベースとなる動きを研修、2日目はエーデルワイススキーリゾートへ移動して雪上研修を行う。

全日本スキー連盟指導者研修会及び 公認スキー検定員クリニック(第3次) SATスキーインストラクター(認定スキー指導員)研修会(第3次)

1. 主 催 栃木県スキー連盟
2. 期 日 2024年2月24日(土)～25日(日)
3. 会 場 日光湯元スキー場
4. 責 任 者 齋藤伸幸
5. 県 連 役 員 小林英夫
6. 教 育 本 部 役 員 篠原 浩
7. 担 当 理 事 齋藤敦史
8. 主 任 講 師 川口 悟、クリニック主任：川口 悟
9. 講 師 川口 悟、岡 豊、小澤大介、吉成 聡
10. 参 加 者 32名
11. 概 要
 - ・研修会について
今シーズンも、理論については、参加者がeラーニングで事前に動画を視聴してくる方法をとった。

- ・指導者研修会について
初日から班ごとに研修を行った。講師から今年度の研修テーマについて説明し、技術研修を行った。参加者は e ラーニングとハンドブックを事前に閲覧し内容を確認しながら実際の滑走でも表現し、各自の講習でも活かせるよう積極的に研修していた。
 - ・クリニックについて
はじめに全体研修を行いジャッジの観点など細かく確認を行ったうえで、班ごとにジャッジの要点や着眼点について確認した。種目の滑走も行うことで、参加者自らが検定種目の確認とジャッジの着眼点をしっかり確認することができた。
12. 所 見 今年のテーマは昨年同様の「ターン始動時のポジショニング」についてしっかり研修できたと思われる。雪不足のため研修会がおこなえるか最後まで検討していたが、スキー場、スキースクール、パトロールの多大なご協力により、リフト運行と研修できるバーンを確保でき、充実した研修会を実施することができた。

第61回栃木県スキー技術選手権大会 (兼全日本及び北関東大会選考会)

1. 主 催 栃木県スキー連盟
2. 期 日 2024年1月20日(土)
3. 会 場 ハンターマウンテン塩原
4. 本 部 スキー場センターハウス2F
5. 大会会長 齋藤伸幸
6. 大会委員長 篠原 浩
7. コーディネーター 新井和夫
8. 技術代表 齋藤貴次
9. アシスタントTD 川口 悟
9. 競技委員長 川俣聖寿
10. 審 判 長 児山将之
11. 審 判 員 和田友実子、戸塚智子、後藤知昭、渡辺勇太、鈴木幸展、飯田裕介、新田義之、佐藤公一、岡 豊
12. 計 算 記 録 分田久貴、松本 忍、櫻井 敦
13. 現 地 総 務 芳野哲也、泉 裕之、人見敏行、網 清夫、荒井 始
14. 参 加 人 数 56名
15. 概 要 雪不足により、1日開催となり、ウォールコースを使って4種目の競技となった。
選手各位の協力と、ハンターマウンテン塩原様には一部コースを、営業状況の中クローズコースのご提供いただき、スムーズに大会を運営できたことに感謝申し上げます。
今シーズンは、北関東大会が1/26~28日の期間で鹿沢スノーエリアで開催される、栃木県からは今大会の結果から、男子25名女子5名合計30名が参加することとなった。
16. リ ザ ル ト 総合成績
男子 1位 福田 司(今市) 女子 1位 中澤 乃愛(宇都宮)
 2位 松田師成(黒磯) 2位 神沢 照代(宇都宮)
 3位 池上貴一(黒磯) 3位 小澤 嘉菜(宇都宮)

第16回オーpensプリングスキー技術選手権大会
2024ジュニアスキー技術選手権大会
第13回学童スキー技術選手権大会
2024オープンマstarsズ技術選手権大会

1. 主 催 栃木県スキー連盟
2. 期 日 2024年3月17日(日)
3. 会 場 ハンターマウンテン塩原
4. 本 部 スキー場センターハウス2F
5. 大会 会長 斎藤伸幸
6. 大会 役員 入江正夫
7. 大会 委員長 篠原 浩
8. コーディネーター 新井和夫
9. 技術 代表 川口 悟
10. アシスタント TD 齋藤貴次
11. 競技 委員長 神山健樹
12. 審 判 長 児山将之
13. 審 判 員 川俣聖寿、河崎英夫、渡辺勇太、和田友美子、戸塚智子、鈴木幸展、新田義之、佐藤公一、岡 豊
17. 計 算 記 録 分田久貴、櫻井 敦、松本 忍
18. 現 地 総 務 広 報 芳野哲也、泉 裕之、網 清夫、人見俊行、齋藤淳史
19. 参 加 人 数 62名
20. 概 要 スプリング技術選手権 27名(男子22名・女子5名)
 ジュニア技術選手権 3名(男子のみ)
 学童技術選手権 2名(男子1名・女子1名)
 オープンマstarsズ技術選手権 30名(男子27名・女子3名)
21. 所 見 本大会は申込者62名に対し、当日参加者は5名減の57名となった。
 天気は曇りであたたかくなり、ゲレンデが緩んでコンディションは湿雪であり、積雪は一部コースで少ないため種目の変更をとった、そのなかでも怪我人・事故も起こらず滞りなく実施できた。
22. リ ザ ル ト
 スプリング技術選手権 男子1位 池上貴一(黒磯)
 女子1位 中澤乃愛(宇都宮)
 ジュニア技術選手権 男子1位 鈴木蒼大(クラーク記念国際高)
 学童技術選手権 男子1位 高橋朋仁(桐生南小)
 女子1位 福井 穂(田代友愛小)
 オープンマstarsズ技術選手権 男子Dクラス1位 櫛田 実(東京都)
 男子Cクラス1位 上杉晶保(千葉県)
 男子Bクラス1位 堀内健一(栃木県)
 男子Aクラス1位 手塚聖一(栃木県)
 女子Cクラス1位 小野口秀子(栃木県)
 女子Bクラス1位 初谷美智代(栃木県)

指導員・準指導員受検者養成講習会(A)

1. 主催 栃木県スキー連盟
2. 期 日 2023年11月26日(日)
3. 会場 パルティ(とちぎ男女共同参画センター)
4. 責任者 篠原 浩
5. 担当理事 富山英幸
6. 講師 分田久貴、塩生康幸、戸塚智子、後藤知昭、渡辺勇太
7. 参加人数 24名
8. 日程
 - 1, 開会(9:30)
 - 2, 挨拶…篠原教育本部長
 - 3, スタッフ・講師紹介
 - 4, 講習Ⅰ
 - ① 受検者自己紹介
 - ② 受検に向けて…分田副本部長、富山委員長
 - ③ 理論講習…「受検者ハンドブック」塩生技術員(全日本HP動画視聴により解説)
 - ④ 指導員に合格して…2023年度合格者齋藤 真氏(パワーポイントを利用して受検経験からのアドバイス)
 - 5, 講習Ⅱ
 - ⑤ 理論講習
 - ・後藤技術員…昨年度主任検定員として、昨年度の検定会での理論を含めた着眼点について
 - ・渡辺技術員…安全編(指導現場における現状と安全への配慮)について
 - ・戸塚技術員…スキー技術向上のポイントについて
 - ⑥ 受検資格別グループディスカッション
 - ・指導員班…戸塚技術員
 - ・準指導員班…塩生・後藤・渡辺技術員
9. 概要
 - 開会后、篠原本部長から受検当たりの心構えと激励をお言葉をいただき、スタッフの自己紹介の後に、受講者それぞれから抱負を含め自己紹介を得た。

午前の講習では、受検にあたり事務手続き等について、分田副本部長・富山が説明し、理論講習では、全日本HP「受検者ハンドブック」を視聴し、そのポイントについて、塩生技術員が解説した。その後、昨年度の合格者である齋藤真(佐野)様から、受験者キャプテンを務め受検した経験談を自作のパワーポイントにて、受検に向けてのアドバイスを得た。

午後の講習では、後藤・渡辺・戸塚技術員から、それぞれの担当項目について、経験談を交えポイントを解説した。その後、受検資格別に分かれグループディスカッションとし、受検に当たりの疑問点などを共有し確認した。最後に今回の受検にあたり「指導者になるにあたっての抱負・指導者像について」レポートの提出をいただいた。

受講者においては、真剣な眼差しで受講され、積極的に意見を述べるなどお互いに受検に向け意識を高め、共に全員が合格する意気込みであった。

準指導員受検者養成講習会(B)

1. 主催 栃木県スキー連盟
2. 期日 2023年12月16日(土)
3. 会場 ハンターマウンテン塩原
4. 担当理事 富山英幸
5. 講師 新井和夫
6. 参加人数 17名(準指導員受検者, SATスキーインストラクター)
7. 日程
 - 1 開会(8:45)
 - 2 あいさつ 齋藤会長
 - 3 役員自己紹介 後藤副会長、渡辺理事長、篠原本部長、新井副本部長、松本理事、富山理事、吉成 SAT 技術員
 - 3 講習 AM 理論
PM 実技
 - 4 閉会(16:00)
8. 概要

午前中は新井安全対策委員長より、2階会議室にて、テキスト「日本スキー教程安全編」を用いてスキー場での危険性や事故が起きた際の対処法について理論講習を行った。さらに、三角巾を用いた応急処置の方法についての実習を行った。

午後新井安全対策委員長より、ゲレンデにて、講習行なう際の安全面での配慮事項をはじめ、実践的な講習を行った。

実践的講習は、2班に分け、同行者が左肱と左膝を負傷してしまい、現場はパトロールを呼べない状況にあり、同行者がゲレンデ下部まで搬送しなくてはならないことを想定し行われた。その救助方法は、負傷者のスキーとストック、救助に当たる方のストックにより、搬送そりを作成し、その搬送そりに負傷者を乗せ、ウェストサイト・ストリート中部からロッジ前まで搬送した。搬送中にそりが壊れ・直すを何度も繰り返しながら、受講者は汗だくになり、救助方法と救急の重みを体験により実感され、有意義な講習となった。

指導員・準指導員受検者養成講習会(C-1)

1. 主催 栃木県スキー連盟
2. 期日 2023年12月23日(土)・24日(日)
3. 会場 ハンターマウンテン塩原
4. 担当理事 富山英幸
5. 講師 塩生康幸、戸塚智子、後藤知昭、渡辺勇太
6. 参加人数 42名(23日20名、24日22名)
7. 日程
 - 第1日目
 - 1 開会(9:30)
 - 2 あいさつ
 - 3 スタッフ紹介
 - 4 講習
 - 5 講習終了(15:30)
 - 第2日目
 - 1 講習開始(9:00)
 - 2 講習
 - 3 講習終了

- 4 閉会式（15：30）
8. 概要 指導員・準指導員受検者養成の実技研修の第1回目として、日帰り2日間の行程で行った。
 指導員受検者を戸塚技術員が担当し、準指導員受検者を塩生・後藤・渡辺技術員が担当した。
 初日から指導員受検者と準指導員受検者班に分け、午前中は、指導種目に向けた基本動作の確認を行い、午後からは準指導員受検者を3班に分け、それぞれ班別講習により、技術員が模範演技し、解説を加えながら受検者への種目への理解を図ると共に、シーズン初めであることから、ポジションやスタンス等の基本的なベース作りを中心にトレーニングを行った。
 2日目は、準指導員受検者班の講師をローテーションし、受検種目について、種目の着眼点を確認しながら正確な技術の習得に向け講習が行なわれ、年末年始の自己トレーニングに向けたベース作りを行った。
 2日とも快晴に恵まれゲレンデコンディションもよく充実した内容の講習会となった。次回の講習会に向けて受検者が課題意識をもって練習に取り組むためのきっかけ作りになった。

指導員・準指導員受検者養成講習会(C-2)

1. 主催 栃木県スキー連盟
2. 期 日 2024年1月13日（土）・14日（日）
3. 会場 会津高原だいらスキー場
4. 担当 理事 富山英幸
5. 講師 塩生康幸、戸塚智子、後藤知昭、新田義之
6. 参加 人数 37名（13日19名、14日18名）
7. 日程 第1日目
 1 開講式（8：45）
 2 実技講習（9：00～15：00）
 3 宿泊者対象理論講習（19：30～20：30）
 第2日目
 1 実技講習（9：00～15：00）
 2 閉校式（15：00）
8. 概要 指導員・準指導員受検者養成の実技研修の第2回目として、準指導員検定会会場である会津高原だいらスキー場において、宿泊・日帰り2日間の行程で行った。
 指導員受検者を戸塚技術員が、準指導員受検者を塩生・後藤・渡辺技術員が其々担当した。
 初日から指導員受検者班と準指導員受検者を3班に分け、班別講習により、年末年始に其々受検者がトレーニングを積んだ現状を、技術員の模範演技と解説により、修正しながら種目への理解を深めると共に、受検に向けて不整地のトレーニングも取り入れた。また、宿泊者対象に、夕食後、受講者からの質問を受けるなど理論講習会を実施した。
 2日目は、準指導員受検者班の講師をローテーションし、受検種目について、種目の着眼点を確認しながら正確な技術の習得に向け、講習時間の有効確保により流しトレーニングとし、C-3に向けた自己トレーニングのベース作りを行った。
 初日は、降雪もありシーズン中の最高な雪質で、2日目は快晴により気温が上がったもののゲレンデコンディションは良く充実した内容の講習会となった。検定会に向けて受検者が課題意識をもってトレーニングに

取組むためのきっかけ作りになった。

指導員・準指導員受検者養成講習会(C-3)

1. 主 催 栃木県スキー連盟
2. 期 日 2024年2月17日(土)・18日(日)
3. 会 場 会津高原だいくらスキー場
4. 担 当 理 事 富山英幸
5. 講 師 戸塚智子、後藤知昭、新田義之、菅原 豊
6. 参 加 人 数 33名(17日17名、18日16名)
7. 日 程 第1日目
1 開講式(8:45)
2 実技講習(9:00~15:00)
3 宿泊者対象理論講習(19:30~20:30)
第2日目
1 実技講習(9:00~15:00)
2 閉校式(15:00)
8. 概 要 指導員・準指導員受検者養成の実技研修の第3回目として、準指導員検定会会場である会津高原だいくらスキー場において、宿泊・日帰りによる2日間の行程で行った。
指導員受検者を戸塚技術員が、準指導員受検者を、後藤・新田・菅原技術員が其々担当し、初日の最初に、全体講習より、種目の着眼点について、最終確認をした。その後、指導員受検者班と準指導員受検者を3班に分け、班別に、受講者ローテーションとし効率良いトレーニングを行った。不整地会場を、中央グレンデ向って左側リフト脇に変更し、コブの作成から本数を重ね実践的なトレーニングとなった。また、宿泊者には、夕食後、受講者からの質問を受けるなど理論講習会を実施した。
2日目の最初は、本番に備え模擬検定会を実施したところ、それぞれ緊張している様子が伺え、良い経験になったと思います。その後は、講師の種目担当を決め、それぞれ受講者がローテーションにより、それぞれの課題克服にトレーニングを積まれた。
2日とも快晴により気温が上がったもののグレンデコンディションは良く充実した講習会となった。検定会に当日に向け、それぞれの課題が整理されたようである。

第68回 準指導員検定会

1. 主 催 栃木県スキー連盟
2. 期 日 2024年3月2日(土)~3日(日)
3. 会 場 会津高原だいくらスキー場
4. 県 連 役 員 齋藤伸幸
5. 責 任 者 篠原 浩
6. 担 当 理 事 松本 忍、泉 裕之、齋藤敦史
7. 主 任 検 定 員 塩野康幸
8. 検 定 員 後藤知昭、渡辺勇太、菅原 豊、新田義之
9. 受 検 者 数 14名

10. 合格者数 8名 合格率57%
11. 日程 1日目
 8:30 ~ 8:50 受付
 9:00 ~ 9:15 開会式(簡素化)
 9:20 ~ 10:50 理論検定
 13:00 ~ 15:30 実技検定
 2日目
 9:15 ~ 11:00 実技検定
 12:00 ~ 13:00 閉会式 合格発表、合格者手続き
12. 概要 今年度は雪不足のため、試験会場を昨年までのマウントジーンズ那須から、だいくらスキー場へと変更を行った。
 スキー場及びホテルの協力もあり本検定は理論筆記試験をホテル会議室、実技検定はロッジ正面の中央ゲレンデを提供頂いた。
 天気は1日目雪、2日目晴れ。ゲレンデ状況は最高の雪質であり受験生にとっては滑りやすいバーンとなった。
 種目は2日間で4種目ずつ実施した。不整地については前日(2日)に作製し準備した。

SATスキーインストラクター養成講習及び検定会(第1次)

1. 主催 栃木県スキー連盟
2. 期 日 2023年12月16日(土)~17日(日)
3. 会場 ハンターマウンテン塩原
4. 担当理事 松本 忍
5. 講師・検定員 齋藤貴次、吉成 聡、松本 忍
6. 参加人数 4名
7. 合格者数 4名 合格率100%
8. 概要 1日目天候：晴れ
 準指導員受検者と共に、安全対策委員長である新井和夫 SAJ 教育本部専門委員の講師により、日本スキー協定「安全編」を教材とし講習が行われ受講者においては、スキー指導上での安全対策から対応まで熱心に受講された。
 午後は、雪上において、スキー指導法を踏まえ、翌日の検定会に向けての検定種目等の養成講習を、吉成 SAT 技術員の指導により行われた。
 2日目天候：晴れ
 午後行う検定会種目について、確認とトレーニングを行った。
 検定は基礎パラ(小回り)、基礎パラ(大回り)、プルークボーゲンの3種目を齋藤専門委員・吉成 SAT 技術員、松本理事で行った。
 熱心な受講から4名の合格となり、後藤副会長から合格書を各自に授与された。

SATスキーインストラクター養成講習及び検定会(第2次)

1. 主催 栃木県スキー連盟
2. 期 日 2024年1月10日(水)~11日(木)
3. 会場 日光湯元スキー場
4. 担当理事 松本 忍

5. 講師・検定員 齋藤貴次、増渕耕樹、松本 忍
6. 参加人数 3名
7. 合格者数 3名 合格率100%
8. 概要 日光湯元スキー場は雪不足のため、1日目を日光湯本スキー場で理論及び若干雪のあるところで雪上講習を行った。2日目はエーデルワイススキー場で雪上講習及び検定を行った。
1日目（日光湯本スキー場、天候：晴れ）
準指導員受検者と共に、安全対策委員長である新井和夫 SAJ 教育本部専門委員の講師により、日本スキー協定「安全編」を教材とし講習が行われ受講者においては、スキー指導上での安全対策から対応まで熱心に受講された。
午後は、雪上において、スキー指導法を踏まえ、翌日の検定会に向けての検定種目等の養成講習を、増渕 SAT 技術員の指導により行われた。
2日目（エーデルワイススキー場、天候：晴れ）
午後行う検定会種目について、確認とトレーニングを行った。
検定は基礎パラ（小回り）、基礎パラ（大回り）、プルークボーゲンの3種目を齋藤専門委員・増渕 SAT 技術員、松本理事で行った。
熱心な受講から3名の合格となり、松本担当理事から合格書を各自に授与された。

公認スキー検定員(B・C級)検定会

1. 主催 栃木県スキー連盟
2. 期 日 2024年3月16日（土）
3. 会場 ハンターマウンテン塩原
4. 県連役員 齋藤伸幸
5. 責任者 篠原 浩
6. 担当理事 泉 裕之
7. 主任検定員 新田義之
8. 検定員 川俣聖寿、河崎英夫
9. 現地総務 泉 裕之
10. 受検者数 15名（B級 4名、C級11名）
11. 合格者数 15名（B級 4名 合格率100%、C級11名 合格率100%）
12. 概要 県外からの参加者3名を含む、B級検定員受検者4名、C級検定員受検者11名の合計15名での検定会となった。午前中に理論試験を行い、昼食を挟み、PM12：30より同日開催のプライズテストの内テクニカルプライズ受検者の滑りを対象として実技試験を実施した。
結果としては、理論、実技共に優秀で、晴れて全員合格となった。

プライズテスト(第1回)

1. 主催 栃木県スキー連盟

2. 期 日 2024年2月4日(日)
3. 会 場 マウントジーンズ那須
4. 担 当 理 事 齋藤敦史、松本 忍
5. 現 地 総 務 齋藤敦史、松本 忍
6. 主 任 検 定 員 児山将之
7. 検 定 員 河崎英夫、渡辺勇太、小澤大介、泉 悠太、吉成 聡
8. 受 検 者 35名〔内訳〕クラウン 13名
テクニカル22名
9. 合 格 者 3名(クラウン1名、テクニカル2名)
10. 概 要

■検定バーン

- ①大回り・②総滑・・・サンダウン上部
③小回り・④不整地小回り・・・ホースバック

■事前講習の様子

役員から挨拶および検定と事前講習の説明を行った。事前講習は昨年度同様、回しトレーニング形式で行った。技術員によるデモンストレーション滑走を行い受検者にジャッジの観点を説明。その後回しトレーニングで各種目2本ずつ講習を行った。受検者1名ずつ滑走し、技術員がアドバイスすることで確実な講習を行いつつ効率のいい方法となった。会場は講習および検定バーンが限られているため、受検者の人数によっては回しトレーニング形式は有効である。次回も同様に行っていきたい。不整地は受検者に手伝ってもらい、スタッフも総出で検定バーンを作成した。

■検定の様子

各種目前走2名ずつ(クラウン1名、テクニカル1名)で実施。テクニカル1名が体調を崩したため辞退した。大回り種目はコースをロープでセパレートして実施。ロープ張りはスタッフ総出でパトロールにも協力いただいた。小回り種目は検定バナーを立ててセパレート等しなかったが一般客の合流も無く検定できた。ゴール付近から検定員までは十分な距離を置き、観客はさらに後ろで見学してもらうことで安全に細心の注意を払った。衝突等けがも発生しなかった。

■総評

今年度マウントジーンズ那須での行事としては初めてで、スキー場、パトロール、スクール協力のもと、けが人も無くスムーズに運営できた。

プライズテスト(第2回)

1. 主 催 栃木県スキー連盟
2. 期 日 2024年2月18日(土)
3. 会 場 マウントジーンズ那須
4. 担 当 理 事 松本 忍、橋本晃輔
5. 現 地 総 務 松本 忍、橋本晃輔
6. 主 任 検 定 員 和田友実子
7. 検 定 員 河崎英夫、岡 豊、小澤大介、齋藤敦史
8. 受 検 者 39名〔内訳〕クラウン 13名
テクニカル 26名
9. 合 格 者 5名(クラウン2名、テクニカル3名)
10. 概 要

■検定バーン

- ①大回り・②総滑・・・サンダウン上部
- ③小回り・④不整地小回り・・・ホースバック

■事前講習の様子

主任検定員から挨拶および検定と事前講習の説明を行った。事前講習は前回同様、回しトレーニング形式で行った。技術員によるデモンストレーション滑走を行い、受検者にジャッジの観点を説明した。その後、回しトレーニングで各種目2本ずつ講習を行った。受検者1名ずつ滑走し、技術員がアドバイスすることで確実な講習を実施するとともに、効率的な講習方法になった。会場は講習および検定バーンが限られているため、受検者の人数によっては回しトレーニング形式は非常に有効である。

■検定の様子

各種目前走2名ずつ(クラウン1名、テクニカル1名)で実施した。大回り種目は、コースをロープでセパレートして実施した。ロープ張りは、スタッフ総出で行い、パトロールにも協力していただいた。小回り種目は、検定バナーを立て、セパレート等はしなかったが、一般客の合流も無く検定できた。

ゴール付近から検定員までは十分な距離を置き、観客はさらに後ろで見学してもらうことで、安全に細心の注意を払った。衝突等のけがも発生しなかった。

■総評

今回も前回同様の会場であったが、スキー場、パトロール、スクール等のご協力のもと、大きなけがも無くスムーズに運営ができた。

プライズテスト(第3回)

- | | | |
|-------|---|--------------------------------|
| 1. 主 | 催 | 栃木県スキー連盟 |
| 2. 期 | 日 | 2024年3月16日(土) |
| 3. 会 | 場 | ハンターマウンテン塩原 |
| 4. 担 | 当 | 理事 松本 忍、大谷昌弘 |
| 5. 現 | 地 | 役員 松本 忍、大谷昌弘 |
| 6. 主 | 任 | 検定員 和田友実子 |
| 7. 検 | 定 | 員 児山将之、佐藤公一、泉悠太、齋藤紀幸、吉田哲哉 |
| 8. 受 | 検 | 者 57名〔内訳〕クラウン 21名
テクニカル 36名 |
| 9. 合 | 格 | 者 4名(クラウン1名、テクニカル3名) |
| 10. 概 | 要 | ■検定バーン |

- ①小回り・②大回り・③総滑・・・ウォール
- ④不整地小回り・・・マディソン

■事前講習の様子

今回は受検者数が多かったため、急遽BC検の技術員を借りて2班体制での回しトレーニングを実施した。主任検定員から挨拶および検定と事前講習の説明を行った。技術員によるデモンストレーション滑走を行い、受検者にジャッジの観点を説明した。その後、回しトレーニングで各種目2本ずつ講習を行った。受検者1名ずつ滑走し、技術員がアドバイスすることで確実な講習を実施するとともに、効率的な講習方法になった。

■検定の様子

受検者が多かったため、検定開始時間を30分早め12:30からとし

た。そのためパトロールにも 12:00 からセパレートをお願いした。ウォールをコースクローズで 3 種目実施。不整地の FDR が雪不足のため使用できずマディソンの 1 レーンのみを使用した。各種目前走 2 名ずつ（クラウン 1 名、テクニカル 1 名）で実施した。

■総評

想定以上に受検者が多かったことから今後、タイムスケジュール等も途中で変更しないように計画する必要があると感じた。4 回目に関しては反省を踏まえた体制を作るよう担当者にはフィードバックした。スキー場、パトロール、スクール等のご協力のもと、大きなけがも無く運営ができた。

プライズテスト(第4回)

- | | | |
|--------------|---|------------------------------|
| 1. 主 | 催 | 栃木県スキー連盟 |
| 2. 期 | 日 | 2024年3月30日（土） |
| 3. 会 | 場 | ハンターマウンテン塩原 |
| 4. 担 当 理 事 | | 橋本晃輔、齋藤敦史 |
| 5. 主 任 検 定 員 | | 和田友実子、河崎英夫、渡辺勇太、小澤大介 |
| 6. 検 定 員 | | 和田友実子、河崎英夫、渡辺勇太、小澤大介 |
| 7. 受 検 者 | | 53名〔内訳〕クラウン 21名
テクニカル 32名 |
| 8. 合 格 者 | | 3名（クラウン1名、テクニカル2名） |
| 9. 概 要 | | ■検定バーン |

- ①大回り・②総滑・③小回り・・・ウォールストリート
- ④不整地小回り・・・マディソンアベニュー

■事前講習の様子

検定員から挨拶および検定と事前講習の説明を行った。受検者多数により事前講習は回しトレーニング形式を 2 班体制で行った。技術員によるデモンストレーション滑走を行い受検者にジャッジの観点を説明。その後回しトレーニングで各種目 2 本ずつ講習を行った。受検者 1 名ずつ滑走し、技術員がアドバイスすることで確実な講習を行いつつ効率のいい方法となった。会場は講習および検定バーンが限られているため、回しトレーニング形式は有効である。

■検定の様子

各種目前走 2 名ずつ（クラウン 1 名、テクニカル 1 名）で実施。整地種目はスキー場、パトロール協力のもと検定バーンをクローズしていただき、完璧な体制で検定できた。ゴール付近から検定員までは十分な距離を置き、観客はさらに後ろで見学してもらうことで安全に細心の注意を払った。衝突等けがも発生しなかった。不整地種目はスキー場のコブレーンを借用いただき、短時間で効率よく検定することができた。

■総評

今年度最後の行事としてハンターマウンテン塩原をお借りして本事業を行うことができた。スキー場、パトロール、スクール協力のもと、けが人も無くスムーズに運営できた。

スペシャルトレーニング '24

1. 主催 栃木県スキー連盟
2. 期日 2023年12月20日(水)・21日(木)
3. 会場 ハンターマウンテン塩原
4. 担当理事 富山英幸
5. 講師 春原優衣 (SAJ ナショナルデモンストレータ)、齋藤貴次
6. 参加人数 12名
7. 概要 **【日程】**
〔12月20日〕
 1. 開会式(9:00) ロッジ前
 2. 挨拶: 齋藤専門委員
 3. 講師紹介・挨拶: 春原 SAJ デモ7
 4. トレーニング開始 大回り ⇒ 昼食 ⇒ 中回り
 5. 終了(15:00)〔12月21日〕
 1. トレーニング開始(9:00) 大回り ⇒ 中・小回り
 2. 終了(14:00)

今シーズンからの試みにより、SAJ ナショナルデモンストレーターである春原優衣選手を講師に招き、選手強化合宿(一次)と兼ね人数制限を10人以内/日とし、これまでとは違った技術向上を目指す方々を対象としたトレーニング内容となった。

トレーニング内容は、シーズン初めであることから、ベース作りとして、ターン前半の捉えのポジションの確認を課題とし、落下運動に伴い内側ではなく外側に向けた効率的なターン始動による荷重・角付け・回旋のターンにより、リズムカルなスキーの動き・走りを目途にトレーニングが行われた。

トレーニング方法は、最初に春原 SAJ デモの講義とデモンストレーションを行い、その後、参加者個々の滑りに対してアドバイスされ、流れトレーニングにより本数を稼ぎ、充実したトレーニングとなった。

2日とも晴天に恵まれ、雪・ゲレンデの状態も良好、中には別人かと思う程、成果を上げられた参加者も見えた。

教育関係職員及び学校教職員スノースポーツ講習会

1. 主催 栃木県スキー連盟
2. 後援 栃木県教育委員会
3. 期日 2024年2月3日(土)～2月4日(日)
4. 会場 会津高原 だいくらスキー場
5. 本部宿舎 リゾートイン台鞍
6. 県連役員 高松守一副会長
7. 担当理事 橋本晃輔
8. 責任者 篠原 浩
9. 講師 《スキー》戸塚智子、藤田健司、伊藤秀哲、山中武史、菅野康三
《スノーボード》長島俊明、森山貴史、吉羽敏昭

10. 参加人数 25名

11. 概要 【日程】

1日目 8:30 ~ 9:00 受付、講師・事務局打合せ
9:30 ~ 11:30 班別講習
12:45 ~ 15:00 班別講習
19:00 ~ 21:00 懇親会（ビデオミーティング）

2日目 9:00 ~ 11:00 班別講習
11:00 ~ 14:45 検定会・班別講習
15:00 ~ 合格発表・事務手続き

【概要】

- ・毎年の参加や同じ学校から数名の参加という方も多く、お互いに親睦を深めることができる講習となった。
- ・技術レベル毎にスキーが4班、スノーボードが1班に分かれて講習を行った。
- ・夜の懇親会は、コロナ感染症拡大以降、久しぶりの開催であった。講習中のビデオを見て技術論などを交わしながら親睦を深めた。
 - ・一日目は快晴の中、班ごとにそれぞれのレベルに合わせて、時間いっぱいまで密度の濃い講習を行った。
 - ・二日目の検定では、受検者でない講習生も前走を務めるなど、全員で受検者の応援をしていた。
- ・スキー及びスノーボード検定の合格者数は以下の通り
 - スキー : 3級2名
 - スノーボード: 1級1名、2級2名、3級2名

SAJ公認パトロール受検者養成講習会(A日程)

- 主催 栃木県スキー連盟
- 期 日 2023年12月21日(木)
- 会場 ハンターマウンテン塩原
- 担当理事 新井和夫
- 講師 新井和夫、増渕耕樹
- 参加者 1名
- 概要 日程
午前 スキー実技種目(基礎種目、搬送種目)
午後 理論、ロープ操法、救急法(三角巾)

概要

A講習では受検種目の要領等を手寧に確認しながら基礎的に行った。

SAJ公認パトロール受検者養成講習会(B日程)

- 主催 栃木県スキー連盟
- 期 日 2024年2月7日(水)~8日(木)
- 会場 ハンターマウンテン塩原
- 担当理事 新井和夫
- 講師 新井和夫、三森友洋
- 参加者 1名

7. 概要
- 要 日 程
- 1 日目
 午前 スキー実技種目（基礎種目、搬送種目）
 午後 理論、ロープ操法、救急法（三角巾）
- 2 日目
 午前 スキー実技種目（基礎種目、搬送種目）
 午後 理論、ロープ操法、救急法（三角巾）
- 概 要
- B 講習の 1 日目は検定会に備えて各種目の実戦的な講習を行った。
 2 日目は午前にスキー実技の講習内検定の実施。午後はロープ操法、救急法の講習内検定を行った。
 結果は合格基準に達したので、養成講習会修了書を交付しました。

SAJ 公認パトロール研修会

1. 主 催 全日本スキー連盟
2. 主 管 栃木県スキー連盟
3. 期 日 2024年2月13日（火）
4. 会 場 ハンターマウンテン塩原
5. 参 加 資 格 SAJ 公認パトロール
6. 責 任 者 斎藤伸幸
7. 県 連 役 員 篠原 浩
8. 会 場 責 任 者 新井和夫
9. 担 当 理 事 新井和夫
10. 主 任 講 師 新井和夫
11. 講 師 三森友洋
12. 参 加 者 4 名
13. 概 要 日程
- 1 日目
- | | | |
|-------------|------|-----------------------------|
| 08:30～ | 開会式 | |
| 09:00～12:00 | 実技研修 | 今年度研修課題
検定種目の確認
ボート搬送 |
| 12:00～13:00 | 昼食 | |
| 13:00～16:00 | 実技研修 | コース外の高度外傷重症事故救助訓練 |
| 16:00～18:00 | 理論研修 | e ラーニング |

概要

好天に恵まれたのか、今年度研修課題横滑りの応用性（切り替え等）確認、検定種目変更に伴う横滑り種目の要領等の確認を行った。
 午後は現場の救急法として、コース外（コースアウト）高度外傷事故を想定して現場到着から応急処置、搬送まで一連の動きを確認しながら訓練を行った。

選手強化合宿(1次)

1. 主催 栃木県スキー連盟
2. 期 日 2023年12月20日(水)～21日(木)
3. 会 場 ハンターマウンテン塩原
4. コーチ 特別外部講師：春原優衣
県連コーチ：齋藤貴次、神山健樹、高野正基
5. 参加人数 11名
6. 概要 講師にSAJ ナショナルデモンストレーター春原優依。初の試みでスペシャルトレーニングと併催。

選手強化合宿(2次)

1. 主催 栃木県スキー連盟
2. 期 日 2024年1月8日(月・祝日)
3. 会 場 ハンターマウンテン塩原
4. コーチ 齋藤貴次、川口 悟、神山健樹
5. 参加人数 13名
6. 概要 雪不足で使えるコートに限られる中マディソンで大回り、午後は強風のため42を使って小回りのトレーニングを行う

選手強化合宿(3次)

1. 主催 栃木県スキー連盟
2. 期 日 2024年3月4日(月)～5日(火)
3. 会 場 ルスツリゾート
4. コーチ 齋藤貴次、神山健樹、塩生康幸、鈴木幸展
5. 参加人数 7名
6. 概要 ルスツリゾートスキー場現地での直前合宿、全員大会に向けて前入りして行った。

2024 SAJ 北関東スキー技術選手権大会

1. フロック構成 埼玉県、茨城県、群馬県、栃木県
2. 期 日 2024年1月26日(金)～28日(日)
3. 会 場 群馬県 鹿沢スノーエリア
4. 本 部 役 員 齋藤貴次、川口悟
5. 審 判 員 川口 悟、鈴木幸展
6. 本 県 役 員 篠原 浩
7. 監 督 コーチ 戸塚智子、和田友実子、佐藤公一、原 克仁
8. 参加人数 30名
9. 概 要 1/26(金) 練習日

大会ゲレンデにて明日からの大会に向け、練習に励む。

参加者 19名

1/27(土) 大会 1日目

気温は低いが晴天、バーン状況等コンディションは最高。

栃木県選手は、自身の滑りに集中して、全力のパフォーマンスをしていた。

試合の1本で、自分の持っている技術を表現できるようにしてほしい選手が多かった。

明日の最終日も頑張してほしい。

成績中間発表では、男子1位につけた選手、また、入賞を狙える選手。女子は優勝を狙える選手。

1/28(日) 大会 2日目

最終日の天候も晴れ。バーン状況等コンディションは前日同様、最高。

残り2種目、中回りとリズム変化と難しい種目だったが、良いパフォーマンスができた選手が多かった。

最終成績では、栃木県男子優勝、5位入賞。女子準優勝となり、良かった。

30人の選手では、技術の差も大きく、下位の選手も少なくなかった。しかし、上位大会への経験が、今後の技術向上につながると感じるので、少しでも底上げすることと、上位選手層の厚さを目指して、選手のサポートが重要と感じた。

栃木県スキー連盟スノーボード部員会議

1. 主 催 栃木県スキー連盟
2. 期 日 2023年12月9日(土)
3. 会 場 ハンターマウンテン塩原
4. 担 当 理 事 大谷昌弘、泉 裕之、橋本晃輔
5. 講 師 長嶋俊明
6. 参 加 者 小谷野洋道、小島弥生、大柿丈彦、及川義浩
7. 概 要 暖かい好天に恵まれた中での開催となった。冒頭の1時間、今シーズンの各事業の摺り合わせ、並びに翌週に開催される指導者研修会、検定員クリニック、資格移行講習の内容の確認を屋内にて行い、10:00から昼食を挟み15:00まで雪上研修を実施した。長嶋専門委員を中心に各SAJ技術員、部員間の共通認識を高め、今後の研修会、検定会および技術選に向け、良好なスタートを切ることができた。

全日本スキー連盟スノーボード指導者研修会(資格移行講習含む) 及び公認スノーボード検定員クリニック

1. 主 催 栃木県スキー連盟
2. 期 日 2023年12月17日(日)
3. 会 場 ハンターマウンテン塩原
4. 担 当 理 事 泉 裕之、
5. 主 任 講 師 長嶋俊明
6. 講 師 新井和夫、小島弥生、鈴木満春、及川義浩
7. 参 加 人 数 14名
8. 概 要 暖冬による雪不足のため、営業コースが上部と下部に分断され、かつ

前日の高温により溶けた雪がそのままハードパックされた厳しい状況の下での開催となった。研修冒頭、新井専門委員による安全講習を実施し、引き続き理論研修、休憩を挟み実技研修を行った。シーズン当初の研修ということで、受講者には非常に有意義な講習であったと思われる。また、安全講習に関しては、スノーボード研修では初の試みで、受講者の安全意識を高め事故を減少させるためにも、次年度以降も引き続き実施したい。

スノーボード指導員受検者養成講習会

1. 主催 栃木県スキー連盟
2. 期 日 2023年12月24日（日）
3. 会 場 ハンターマウンテン塩原
4. 担 当 理 事 橋本晃輔
5. 講 師 長嶋俊明
6. 参 加 人 数 1名
7. 概 要 天候に恵まれ、また、ゲレンデコンディションが良好の中、ケガなく無事に講習を終えることができた。長嶋専門委員のお陰である。
午後は、前半にて午前中の滑走の様子を動画で確認したことで、後半はねらいを明確にもって滑走することができていたので、実り多い講習となった。

スノーボード準指導員受検者養成講習会

1. 主催 栃木県スキー連盟
2. 期 日 2024年2月10日（土）～11日（日）
3. 会 場 会津高原 だいくらスキー場
4. 担 当 理 事 泉 裕之
5. 講 師 小島弥生
6. 参 加 人 数 栃木県2名 茨城県3名
7. 概 要 2日目こそ若干の降雪に見舞われたが、概ね好天に恵まれた。茨城県連との合同開催となる本事業は、本県2名、茨城県連3名の計5名の受講者を迎え、本県より小島技術員、茨城県より根本技術員を講師として、随所に長嶋専門委員のアドバイスをいただきながら効率的な講習が実施された。初日午後に理論講習を行い、2日目午後3:30まで講習をおこない、受講者にとって内容の濃い講習会となった。

第22回 スノーボード準指導員検定会

1. 主催 栃木県スキー連盟
2. 期 日 2024年3月9日（土）
3. 会 場 会津高原 だいくらスキー場
4. 県 連 役 員 齋藤伸幸
5. 責 任 者 篠原 浩
6. 担 当 理 事 大谷昌弘

7. 現 地 総 務 大谷昌弘
8. 主 任 検 定 員 小島弥生
9. 検 定 員 埴 SAJ 技術員（茨城県） 根本 SAJ 技術員（茨城県）
10. 参 加 人 数 栃木県 1 名、茨城県 3 名
11. 合 格 者 数 栃木県 1 名、茨城県 3 名、（合格率 100%）
12. 概 要 茨城県、栃木県 2 県合同開催としての実施ではあるが、本県からの受検者 1 名、茨城県連 3 名の計 4 名の受検者で実施した。
 シーズン終盤ではあるものの金曜夜以降想定外の降雪が続き、ゲレンデ整備も追いつかない状況ではあったが、スキー場の手厚い協力のもと検定会が実施できた。
 結果としては、養成講習等の日頃の鍛錬が実を結び、受検者全員が合格となった。
 検定会全体を通して、茨城県連には進行やスキー場との事前調整など、全体的な取りまとめを行っていただいた。対応に感謝したい。

公認スノーボード検定員（B・C級）検定会

1. 期 日 2024年3月10日（日）
2. 会 場 会津高原だいらスキー場
3. 担 当 理 事 大谷昌弘
4. 主 任 検 定 員 長嶋俊明
5. 検 定 員 小島弥生
6. 参 加 人 数 B級 6 名、C級 8 名、計 14 名
7. 合 格 者 数 B級 6 名、C級 8 名、計 14 名（合格率 100%）
8. 概 要 本県で主催し 2 年目となったが、今年は受検者も B 級 6 名、C 級 8 名と多くの募集があり、スノーボード事業の普及発展に向けた有意義な取り組みとなった。
 当日は、理論、実技ともに会議室での検定となったが、特に動画素材を用いた実技検定は、SAJ デモによるわかりやすい滑走実演により構成されており、雪上検定にはない利点も見受けられ受検者にも好評を得ていた。
 結果としては、理論、実技ともに受検者全員高い意識を持って受検に臨んでおり、全員が合格となった。
 また、C 級検定においては、茨城県連所属の指導者の皆さま（5 名）に受検していただき両県のスノーボード教育、指導分野においても一層の結びつきが深まった。

北関東スノーボード技術選 強化練習会

1. 主 催 栃木県スキー連盟
2. 期 日 2024年1月27日（土）
3. 会 場 群馬県 スノーパーク尾瀬戸倉
4. 担 当 理 事 大谷昌弘
5. コ ー チ 小島弥生、及川義浩
6. 参 加 人 数 10 名

7. 概要 例年がない雪不足から大会使用を予定していた十二平ゲレンデもクローズされていたが、新たに設定された A コース下部の大会バーンで出場選手それぞれ大会に向けて調整にあたった。
- 少し柔らかい雪面コンディションであったが、大会バーンを使用した有意義な練習会となった。

第19回北関東スノーボード技術選手権大会 兼 第21回栃木県スノーボード技術選手権大会 (第21回全日本スノーボード技術選手権大会選考会)

1. 期 日 2024年1月28日(日)
2. 会 場 群馬県 スノーパーク尾瀬戸倉
3. 県 連 役 員 泉 裕之、大谷昌弘
4. 本 部 役 員 長嶋俊明、小谷野洋道、及川義浩、小島弥生
5. 参 加 人 数 10名
6. 概 要 好天の中、ショート、ミドル、フリーの3種目が同一コートで実施され、効率良く大会は進展した。柔らかい雪面状況であったが、本県選手10名全員が雪質に対応した素晴らしいパフォーマンスを繰り広げ、女子が1位、男子は2位を本県勢が獲得し女子においては入賞6名中4名を占める好成績であった。
- 当大会は、全日本SB技術選手権の予選も兼ねており8名の出場選手を決定した。

第61回全日本スキー技術選手権大会

1. 期 日 2024年3月5日(月)～3月10日(土)
2. 会 場 ルスツリゾート
3. 監 督 齋藤貴次
4. コ ー チ 神山健樹、塩生康幸、鈴木幸展
5. 参 加 人 数 7名
6. 概 要 6年ぶりの北海道ルスツリゾートスキー場での大会となり、男女1名ずつ決勝進出し、本県代表選手が優秀な成績を収めました。特に、男子の福田司選手(今市)は、スーパーファイナル進出まで、わずかに2点差ということで、本県代表選手の実力を十分にみせることができました。
- 〔最終成績〕
- 男子
- *福田 司(今市) 33位
 - *松田師成(黒磯) 122位
 - *池上貴一(黒磯) 191位
 - *矢板 拳(大田原) 210位
 - *小笠原一徳(宇都宮) 261位
- 女子
- *中澤乃愛(宇都宮) 41位
 - *小澤嘉菜(宇都宮) 142位

第21回全日本スノーボード技術選手権大会

1. 期 日 2024年2月29日(木)～3月3日(日)
2. 会 場 スノーパーク尾瀬戸倉
3. 監 督 小島弥生
4. コーチ 及川丈彦、県連役員 泉 裕之
5. 参加人数 8名
6. 概要

昨年までの新潟県石打丸山より、群馬県尾瀬戸倉スノーリゾートへ開催地を移し開催された。

雪不足により、大会コートの縮小を余儀なくされたが、何とか開催に漕ぎ着け成功裏に終了した。

本県勢は男子アルペン2名、男子フリースタイル、女子フリースタイルに各3名、合計8名がエントリーし、男子フリースタイル萩原選手、女子フリースタイル石田選手、渡邊選手、飯塚選手の計4名が予選を突破して決勝に駒を進めた。

(最終成績)

フリースタイル男子	萩原悠太(足利SB)	17位
	笹岡 岳(今市)	104位
	遠藤真澄(足利SB)	179位
フリースタイル女子	石田悦美(足利SB)	15位
	渡邊浩美(今市)	19位
	飯塚奏子(足利SB)	23位
アルペン男子	益子良三(今市)	19位
	石田豊友(鶏頂山)	25位

SAJ教育本部・北関東ブロックスキー技術員研修会

1. 期 日 2023年12月2日(土)～3日(日)
2. 会 場 群馬県 鹿沢スノーエリア
3. 参加者 SAJ専門委員 斎藤貴次、川口 悟(本部役員)
栃木県選出SAJ教育本部スキー技術員17名
4. 概要

今年度の研修会は、SAJ教育本部長、専門委員、各県連選出スキー技術員の参加により、1泊2日の日程で行われ、SAJナショナルデモ(津村悠、田中頌平、徳竹剛、八重樫圭一、渋谷潤子)5名、SAJデモ(石川千尋)1名のデモンストレーションにより進められた。

第1日目は、開会式後、雪上において専門委員とナショナルデモによる解説とデモンストレーションを確認し、各班に分かれ実技の研修を行った。

今年度も「ターン始動時のポジショニング」を研修課題とし、ポジショニング、エッジング、荷重動作の3つの基本動作を確認し、低速から高速まで一貫した組み立てで指導を行うための重要な要素のトレーニングを行いながら理解を深めた。

夕方からは、理論研修として専門委員から、スキー学校委員会、技術強化委員会、検定委員会、及び安全対策委員会の伝達が行われた。

第2日目は各県連の班に分かれ、川口専門委員と田中ナショナルデモにより、前日の雪上研修を振り返りながら再確認を行った。また、指導員検定種目の観点や今年度の変更点などを確認し理解を深めた。

今シーズンも積雪量が少なく、十分な研修には条件が厳しかったが、一般のお客さんも比較的少なかったことで各班とも滑走量を確保でき、内

容の濃い研修となった。

SAJ教育本部・北関東ブロックスノーボード技術員研修会

1. 期 日 2023年12月2日（土）～3日（日）
2. 会 場 群馬県 鹿沢スノーエリア
3. 参 加 者 小谷野洋、小島弥生
4. 概 要 昨年に引き続きの研修テーマをブラッシュアップする形で北関東 SB 技術員全員で共有し理解を深るため、SAJデモンストレーター小澤デモを中心に理論研修と雪上研修で安全に怪我することなく実施できた。
委員会報告では検定員制度の現状認定者数やプライズテストの制度制定の経緯を話すことができた。

SAJ教育本部・北関東ブロックスキーパトロール技術員研修会

1. 期 日 2023年12月8日（金）～10日（日）
2. 会 場 ビラタス蓼科スノーリゾート
3. 参 加 者 増渕耕樹
4. 概 要 「参加者」
東北・北関東・南関東・甲信越・東海北陸・近畿・西日本ブロックパトロール技術員 32 名
「事業の目的」
1. 安全対策部の活動方針・事業内容の周知
2. スキーパトロール検定会・研修会の任務遂行に必要な理論および実技課題に関する研修。
12月8日（金）
開会式終了後、特別講師として八重樫圭一ナショナルデモより中央研修会の内容の理論研修を行った。また今シーズンよりパトロール検定内容の変更の為に実技内容の確認を行った。
12月9日（土）
八重樫ナショナルデモより中央研修会の内容で「ポジショニング、荷重動作、エッジング」の雪上研修の実施。午後はパトロール専門員より中央研修会内容で反復練習とスキーパトロール雪上検定内容の確認と説明。また、応用技術滑走の動画撮影を実施した。
12月10日（日）
各班に別れて検定内容のボート搬送技術の確認を行った。
両日ともに日中は雪上研修、夕方から夜の部では理論研修と内容の濃い研修会となった。

SAJ全国安全対策委員長会議

1. 期 日 2023年10月28日（土）
2. 会 場 オンライン会議
3. 参 加 者 安全対策委員長 新井和夫
4. 概 要 審議事項
1. 2024 SAJ 教育本部安全対策部事業計画
2. 2024 SAJ 教育本部安全対策部研修会テーマ
3. 2024 SAJ 教育本部「資格検定受検者のために」

4. 各加盟団体安全対策委員会より審議事項

5. その他

所見

今年度は感染症対策も5類となりましたが、会議はオンラインに定着した模様です。資格検定においては実技種目の変更や採点基準の見直し等が行われた。また会期の短縮に伴う養成講習会での講習内検定が行われることとなった。

今までより受検に臨める環境は良くなりましたが、採点基準の見直しにより、一部の受検者にハードルが上がったかもしれません。

2024年度 各種資格検定合格者名簿
公認スキー指導員 合格者

No	氏名	所属
1	小澤 嘉菜	宇都宮
2	中澤 乃愛	宇都宮
3	山中 武史	今市
4	福田 司	今市
5	福田 和也	黒磯

公認スキー準指導員 合格者

No	氏名	所属
1	鮎川 公子	日光
2	大貫 剛久	宇都宮
3	中山 裕貴	宇都宮
4	寺戸 那奈恵	宇都宮
5	関根 伊佐夫	東武
6	五月女 亨世	小山市
7	岡崎 友美子	小山市
8	荒井 俊樹	今市

公認スノーボード指導員 合格者

No	氏名	所属
1	小林 孝子	日光

公認スノーボード準指導員 合格者

No	氏名	所属
1	田中 康裕	栃木

公認スキーパトロール 合格者

No	氏 名	所 属
	該当なし	

公認スキーA級検定員 合格者

No	氏 名	所 属
1	高瀬 貴久	今 市

公認スキーB級検定員 合格者

No	氏 名	所 属
1	小澤 嘉菜	宇都宮
2	中澤 乃愛	宇都宮
3	山中 武史	今 市
4	福田 司	今 市

公認スキーC級検定員 合格者

No	氏 名	所 属
1	鮎川 公子	日 光
2	大貫 剛久	宇都宮
3	中山 裕貴	宇都宮
4	寺戸 那奈恵	宇都宮
5	関根 伊佐夫	東 武
6	五月女 亨世	小山市
7	荒井 俊樹	今 市
8	廣江 昇	今 市
9	岡崎 里音	神奈川県
10	橘 秀斗	福島県
11	天沼 伸乃介	学 連

公認スノーボードB級検定員 合格者

No	氏 名	所 属
1	小林 孝子	日 光
2	今井 盛夫	那 須
3	石田 豊友	鶏頂山
4	萩原 秀侑	足 利
5	飯塚 奏子	足 利
6	高橋 深雪	今 市

公認スノーボードC級検定員 合格者

No	氏 名	所 属
1	田中 康裕	栃 木
2	森山 貴史	今 市
3	黒田 洋平	今 市
4	飯村 善美	茨城県
5	大塚 一彦	茨城県
6	阿久津 秀文	茨城県
7	関口 勝己	茨城県
8	永嶋 政治	茨城県

SATスキーインストラクター 合格者

No	氏 名	所 属
1	関塚 修	那 須
2	増子 まさ子	黒 磯
3	高橋 秀樹	大田原
4	室井 雅史	ハンター
5	大島 淳	日 光
6	松田 節子	日 光
7	上吉原 透	日 光

バッジテスト 合格者
[クラウンプライズ]

No	氏 名	所 属
1	石井 千博	群馬県
2	佃 晴翔	埼玉県
3	西 直人	暫定会員
4	笠上 嶺史	東京都
5	金子 侑暉	栃木県

[テクニカルプライズ]

No	氏 名	所 属
1	齋藤 靖	栃木県
2	岡村 秀治	栃木県
3	橋本 智矢	東京都
4	國安 佑介	群馬県
5	河原 隼斗	暫定会員
6	堀内 祐次	栃木県
7	小林 拓己	暫定会員
8	小熊 和成	栃木県
9	金子 奈央	栃木県
10	西田 哲	暫定会員

2025年栃木県スキー連盟強化指定選手名簿（教育本部）

【男子】

氏名	所属
吉成 聡	那須スキークラブ
上野 貴朗	宇都宮スキー協会
浦田 昌弘	
小笠原 一徳	
小澤 大介	
折原 勲	
木村 倫一	
桜井 睦元	
迫 和彦	
常磐 瑛貴	
中山 裕貴	
福田 司	
矢板 拳	
渡辺 賢孝	
塩生 康幸	鶏頂山スキークラブ
吉田 哲也	足利スキー協会
荒井 俊樹	今市スキー協会
池上 貴一	黒磯スキー協会
漆原 徳馬	
松田 師成	
泉 悠太	上河内スキークラブ

【女子】

氏名	所属
中澤 乃愛	宇都宮スキー協会
石田 麗來	今市スキー協会

2024シーズン 教育本部最優秀選手・優秀選手

最優秀選手

氏名	所属	区分	主な成績
該当者なし			

優秀選手

氏名	所属	区分	主な成績
福田 司	今市	スキー	全日本スキー技術選手権大会決勝33位
中澤乃愛	宇都宮	スキー	全日本スキー技術選手権大会決勝41位